

「イスラエルの悪い習慣」

士師記 2章7-19、17:6節

1

民は、ヨシュアの生きている間、また、ヨシュアのとまで生き残って【主】がイスラエルに行われたすべての大きなわざを見た長老たちの生きている間、【主】に仕えた。【主】のしもべ、ヌンの子ヨシュアは百十歳で死んだ。、、、その同世代の者もみな、その先祖のもとに集められたが、彼らのあとに、【主】を知らず、また、主がイスラエルのためにされたわざも知らないほかの世代が起こった。それで、イスラエル人は【主】の目の前に悪を行いバアルに仕えた。彼らは、エジプトの地から自分たちを連れ出した父祖の神、【主】を捨てて、ほかの神々、彼らの回りにいる国々の民の神々に従い、それらを拝み、【主】を怒らせた。 士 2:7-12

2

モーセとヨシュアの神に従う

- モーセもヨシュアも死ぬ。
- モーセとヨシュアの神は死なない。
- 主は生きておられる。主のことばも、約束も、計画も。
- ヨシュアや長老たちは見ているが、私たちは見ていない。信じられない。
- 神は見ている、信じている。神はいっしょに喜び、悲しみ、怒る。
- 生きた神と生きる関係(契約)。

3

見なくても信じる

- イエスが、これらのことを話しておられると、群衆の中から、ひとりの女が声を張り上げてイエスに言った。あなたを産んだ腹、あなたが吸った乳房は幸いです。しかし、イエスは言われた。「いや、幸いなのは、神のことばを聞いてそれを守る人たちです。」
ルカ11:27-28
- イエスは彼に言われた。「あなたはわたしを見たから信じたのですか。見ずに信じる者は幸いです。」この書には書かれていないが、まだほかの多くのしるしをも、イエスは弟子たちの前で行われた。しかし、これらのことが書かれたのは、イエスが神の子キリストであることを、あなたがたが信じるため、また、あなたがたが信じて、イエスの御名によつていのちを得るためである。ヨハネ20:29-31

4

彼らが【主】を捨てて、バアルとアシュタロテに仕えたので、【主】の怒りがイスラエルに向かって燃え上がり、主は彼らを略奪者の手に渡して、彼らを略奪させた。主は回りの敵の手に彼らを売り渡した。それで、彼らはもはや、敵の前に立ち向かうことができなかつた。彼らがどこへ出て行っても、【主】の手が彼らにわざわいをもたらした。【主】が告げ、【主】が彼らに誓われたとおりであった。それで、彼らは非常に苦しんだ。そのとき、【主】はさばきつかさを起こして、彼らを略奪する者の手から救われた。ところが、彼らはそのさばきつかさにも聞き従わず、ほかの神々を慕って淫行を行い、それを拝み、彼らの先祖たちが【主】の命令に聞き従って歩んだ道から、またたくまにそれで、先祖たちのようには行わなかつた。【主】が彼らのためにさばきつかさを起こされる場合は、【主】はさばきつかさとともにおられ、そのさばきつかさの生きている間は、敵の手から彼らを救われた。これは、圧迫し、苦しめる者のために彼らがうめいたので、【主】があわれまれたからである。しかし、さばきつかさが死ぬと、彼らはいつとも逆戻りして、先祖たちよりも、いっそう墮落して、ほかの神々に従い、それに仕え、それを拝んだ。彼らはその行いや、頑迷な生き方を捨てなかつた。 士師2:13-19

5

生きた神、生きたみ言葉

- イスラエルよ。今、あなたの神、【主】が、あなたに求めておられることは何か。それは、ただ、あなたの神、【主】を恐れ、主のすべての道に歩み、主を愛し、心を尽くし、精神を尽くしてあなたの神、【主】に仕え、あなたのしあわせのために、私が、きょう、あなたに命じる【主】の命令と主のおきてとを守ることである。
申 10:12-13
- この律法の書を、あなたの口から離さず、昼も夜もそれを口ずさまなければならない。そのうちにするされているすべてのことを守り行うためである。そうすれば、あなたのことばで繁栄し、また栄えることができるからである。わたしはあなたに命じたのではないか。強くあれ。雄々しくあれ。恐れてはならない。おののいてはならない。あなたの神、【主】が、あなたの行く所どこにいても、あなたとともにあるからである。」 ヨシュア 1:8-9

6

神中心から自分中心に

- その当時のイスラエルの「主の祈り」
- ミー (Me) がほめられますように。ミー (My) の国ミーの心、思い通りになりますように。
- 「わが父よ。できますならば、この杯をわたしから過ぎ去らせてください。しかし、**わたしの願うようにではなく、あなたのみこころのように、なさってください。**」 マタイ26:39
- 自分の思うようになることの恐ろしさ
- 神の民が自分中心に生きるようになった。

7

自分中心から神中心に

- カナンに入ったイスラエルのカナン化
- この世と調子を合わせない ローマ12:2
- むしろ、**心を新たに**すること、自分を変えていただきたい。
- 成功を求める。成功が神？ **成功よりも信仰。**
- 人は神から離れて、失敗してみじめな人生を送る、あるいは神から離れて成功してもっとみじめな人生を送ることがある。神と一緒にみじめな人生はない。最高の人生。

8

神中心へのプロセス

- イスラエルよ。今、**あなたの神、【主】が、あなたに求めておられることは何か。**それは、ただ、あなたの神、【主】を恐れ、主のすべての道に歩み、主を愛し、心を尽くし、精神を尽くしてあなたの神、【主】に仕え、**あなたのしあわせのために、私が、きょう、あなたに命じる【主】の命令と主のおきてとを守ることである。**
申 10:12-13
- この律法の書を、あなたの口から離さず、**昼も夜もそれを口ずさまなければならない。そのうちに**しるされている**すべてのこと**を守り行うためである。そうすれば、**あなたの**することで**繁栄し、また栄えることができる**からである。わたしはあなたに命じたではないか。強くあれ。雄々しくあれ。恐れてはならない。おののいてはならない。**あなたの神、【主】が、あなたの行く所どこにでも、あなたとともにあるからである。**」 ヨシュア 1:8-9

9

苦しい時の神頼み？

- すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。 マタイ11:28
- 11:29 わたしは心優しく、へりくだっているから、**あなたがたもわたしのくびきを負って、わたしから学びなさい**そうすればたましいに安らぎが来ます。(弟子、習慣)
- くびき、自分を捨てる。(十字架を追って、ルカ14)
- 神捨てロール、神いらないぞうシボウ、自己中毒症、高慢性、傲慢性の痛み、苦しみ(習慣病)
- 文句、不平、不満の中に、主は住まわれない。イスラエルは不平不満の中で滅びた。1コリント10:10
- 「神は高ぶるものを退け、へりくだる者に恵みをお授けになる。」 ヤコブ 4:6、イサヤ57:15

10

悪習慣を良い習慣に

- 捨てる、苦しむ、叫ぶ、助かる、捨てる、、、
- 悪いパターンを良いパターンに変える
- 神中心に、へりくだり(賛美、従順)、いっしょに生きる
- 悪い習慣を良い習慣に(不平不満を感謝と賛美に)
- そのころ、イスラエルには王がなく、**めいめいが自分の目に正しいと見えることを行っていた。**
士師17:6
- めいめい(メー・メー)の羊は羊飼いに聞き従う
ヨハネ10:27-28
- 私たちの羊飼いは、私たちが命を得、豊かに生きるために来られた。ヨハネ10:10-11

11

悪習慣を良い習慣に

この律法の書を、あなたの口から離さず、昼も夜もそれを口ずさまなければならない。そのうちにしるされているすべてのことを守り行うためである。そうすれば、あなたのすることで繁栄し、また栄えることができるからである。わたしはあなたに命じたではないか。強くあれ。雄々しくあれ。恐れてはならない。おののいてはならない。あなたの神、【主】が、あなたの行く所どこにでもあなたとともにあるからである。ヨシュア 1:8-9

12